教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和４年１１月２４日号　多治見市教育委員会　教育総務課

３年ぶりの多治見まつり開催

新型コロナ感染拡大防止対策のため、２年間多治見まつりは中止となりました。この２年間、例年パレードに参加していた養正小学校は、多治見市役所本庁舎駐車場において、昭和小学校は虎渓用水広場において、鼓笛演奏を披露してきました。コロナ禍においても、少しでも子ども達の活躍の場を位置づけたいという学校の思いがあったからこそ実現することができたのだと思います。今年は、３年ぶりにパレードも行われました。子ども達は、さわやかな秋空の下、沿道からの応援や拍手を受けながら、元気いっぱい演奏しました。一人一人の心に残る貴重な体験になったものと確信します。

【養正小学校】

【昭和小学校】

また、今回の多治見まつりには熊本県から、公式キャラクターである『くまモン』もゲストとして参加してくれました。

平成 28 年４月に発生した熊本地震の被災地に、小泉中学校の生徒会が中心になり義援金を届けていました。多治見市の関係者が、こうした取組をきっかけに熊本県と多治見市の交流を願って招致を働きかけていただいたそうです。とてもありがたく思います。なお、くまモンは、多治見まつりの前日に小泉小中学校にも訪問してくれました。子ども達は、大喜びでした。と同時に、社会貢献活動に取り組んだ先輩を誇りに感じたことと思います。

多治見市青少年育成功労者表彰式

１１月19日（土）に多治見市役所本庁舎において、令和４年度多治見市青少年育成功労者表彰式が行われました。長年に渡って、校区の青少年まちづくり市民会議や地域の見守り活動等、青少年の健全育成にご尽力をいただいた 16 名の方々が、古川市長より感謝の意を込めて表彰されました。地域のイベントや活動等において、子ども達が中心になって進めることができるようにご活躍いただいています。今後ともよろしくお願いします。

挨拶で絆の日・「三行詩」市内コンクール

今年度も、親育ち4･3･6･3たじみプラン推進事業の一環として「家族の約束十ニか条三行詩」市内コンクールを実施しました。昨年より約170点多い 1380 点の応募がありました。大変うれしく思います。入選作品の中の最優秀賞の作品を紹介します。

＜小学校低学年の部＞　がめんより　かぞくのかお見て　会話しよう！（滝呂小２年生）

＜小学校高学年の部＞　いやなこと　家族に話せば　ほら　元気　（笠原小４年生）

＜中学生の部＞　弟の泣き声　妹の笑い声　今日も家中にこだまする
うるさいぐらいがちょうどいい　（陶都中２年生）

＜一般の部＞　「ただいま」の　トーンで察する君の一日
元気な声でありますように　（多治見中保護者）

また、１１月１日に今年度２回目の『挨拶で絆の日』の活動を市内全体で実施することができました。まちづくり市民会議の方々や、PTA 役員の皆さんと一緒に児童や生徒も活動することができました。また、アルミ缶回収も兼ねて取り組んだ学校もありました。

今後も、子ども達と地域の皆さんと一緒になって本運動を進めていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いします。